

# 郡上長良川ロータリークラブ

第 46 期クラブテーマ

## 子供たちの未来へ

会長：松森正和 副会長：藤代昇 幹事：佐藤備子

例会日：毎週水曜日 18：30~ (6-9 月末 19：00~)

例会場及び事務所：白鳥町農業指導研修センター 2F

TEL：0575-82-3822 FAX：0575-82-5191

E-mail：gsrca@abelia.ocn.ne.jp 発行：クラブ会報委員会

### 第2116回 令和5年7月19日(水)

#### 本日の行事

#### 各委員会活動方針発表①

2023-24 年度

松森正和会長

\* 関RC より

幹事報告

佐藤備子幹事

東海北陸道グループゴルフ大会の案内

\* ガバナー事務所より

9月26日(火) 関カントリー倶楽部

・ 地区支援リソースの案内

\* 志摩RC より活動計画書 拝受

\* 米山奨学会よりハイライトよねやま 280 号

\* 例会変更 美濃、可児 RC

\*\*\*\*\*

#### 第 2 1 1 5 例会報告

##### 会長挨拶

2023~24 年度 松森正和会長

皆さん今日は。本日は足元の悪い中、お忙しい中、篠原ガバナー、山本代表幹事をはじめとする地区役員の皆様にお越しいただき、郡上八幡ロータリークラブ、郡上長良川ロータリークラブの合同例会が開催されます事を大変嬉しく思います。



RI 会長テーマ「世界に希望を見出そう」、篠原ガバナー地区方針「奉仕の心を未来へつなげよう」、我々郡上長良川ロータリークラブのテーマは「子供たちの未来へ」とさせていただきます。

新型コロナウイルス感染症の拡大が収まりつつある中、今ロータリアンとして何が出来るかを考えた時、過去を振り返りつつも、やはり未来へ向けて次世代の子供たちの為に、少しずつでも世の中を良い方向に持っていく事が大切だと思います。

そのために会員の皆様のご協力が必要となりますので、どうか宜しくお願い致します。

私がロータリークラブに入会して9年が経過しました、まだまだ沢山の先輩方の足元にも及びませんが、1年1年自分が出来ることを探して、行動していきたいと思っております。

本日は篠原ガバナーの卓話とても楽しみにしておりますので、どうかよろしくお願い致します、簡単ではありますが挨拶とさせていただきます。

##### 会長挨拶

郡上八幡ロータリークラブ 三原慎也会長

皆さん今日は。本日は篠原ガバナーを始め、多治見リバーサイド RC の代表幹事、ようこそ郡上八幡へ。また郡上長良川ロータリークラブの皆様、先週は大変お世話になりました。郡上八幡のこの会場へようこそいらっしゃいました。



本日の土砂降りですが、私のせいかと反省しておりますが、雨降って地固まると言う諺のように、ロータリーの活動が固まるという事で、お許しを願いたいと思っております。

本日、篠原ガバナーの卓話を聞くという事で、今日一日、短い時間ですが、この例会において色々学んでいただいて、本日 郡上八幡ロータリークラブと郡上長良川ロータリークラブの皆様が来ておりますので、親睦を深めていただきたいと思います。簡単ですが、会長の挨拶とさせていただきます。今日は一日よろしくお願い致します。



##### ガバナー卓話

第 2630 地区ガバナー 篠原一行様

各クラブの皆様方には、日頃より、地区運営にご理解ご協力をいただきましてありがとうございます。本年1月に、国際協議会に出席しました。長くサンディエゴで開催されていた国際

協議会ですが、浦田パストガバナー年度から、アメリカフロリダのオーランドで開催されるようになりました。コロナの影響で3年ぶりの現地開催となりました。浦田パストガバナー、高橋直前ガバナーはリモートで参加されています。皆さんご存じの通り、オーランドと言えば、数々の有名なテーマパークのある所です。

RI 会長のテーマは、「CREATE HOPE in the WORLD 世界に希望を生み出そう」であります。私たちの目標は、紛争から世界が立ち直れるように、希望を取り戻すことです。そうすれば、私たち自身のために持続可能な変化をもたらすことが可能となるでしょう。平和とは、希望が根づくための土壌です。世界と自分自身の中に平和を築くことに力を注げば、ロータリーはより平和で、より希望のある世界を築く手助けができると思います。ロータリーは、今までの多くの奉仕プロジェクト事業を通して、多くの人に多くの希望を与える活動を実践してきました。これこそ、ロータリーが、世界にもたらしている変化ではないでしょうか。この変化が、一つずつ希望を取り戻し、新たな希望を生み出していけると思います。平和とは、紛争や戦争が無くなることは勿論ですが、治安が良いこと、貧困や飢餓がなくなること、家族と平穏に暮らせること、人として最低限の文化的な生活ができることではないでしょうか。そのために、ロータリアンは奉仕の心をもって、未来のために多くの課題の解決に取り組んできました。これからも、世界に希望を生み出すためには、多くの人たちに希望を持ってもらえるような活動をしていきたいと思っています。そのためには、「奉仕の心」を常に持って、そして「未来の人たちのために」、それを「つなげていくこと」が大切と考えています。私のガバナーとしての地区方針は、「奉仕の心を未来へつなげよう」です。



日本のロータリーは、例会をとっても大切にしています。「Enter to learn, Go forth to serve 入りて学び、出でて奉仕せよ」 例会の場で奉仕の理念を学び、外では奉仕の実践を！であります。日本には素晴らしい『地域』があって『ロータリー』があって『ロータリアン』がいます。例会で多くのことを学び、奉仕の心を磨き、奉仕の実践をして、奉仕の心を多くの人たちにつなげていくことで奉仕の輪が広がり、地域社会の発展、広くは世界の発展、世界平和に貢献できるようになるでしょう。私たちが、未来のために共に行動しようではありませんか。

例会は、職業人としての倫理を向上させ、理念の浸透を図り、互いに切磋琢磨し学ぶ場であります。例会のプログラムを大切に、例会への出席を大切にしましょう。例会のプログラムを工夫するなどして、例会に出席してよかったという気持ちで帰ってもらえるようにしたいものです。中でも会長挨拶はととても大切であると思っています。また、多くのクラブが、クラブ研修リーダーを選任していただいています。クラブを活性化するためにも、クラブ内での研修活動を定期的実施することは効果的と考えます。ロータリーの理念やロータリーの素晴らしさが身に付けば、クラブの強化につながると思います。それが強いて言えば会員増強にもつながると考えます。入会して3年未満で辞める方が50%近くいます。ロータリーの理念も、ロータリーの素晴らしさも理解しないでやめていかれることは、本当に残念でもったいないと思います。

次に、日本のロータリーは、職業奉仕、4つのテスト、ロータリーの目的、例会を重視してきました。そして、ロータリーの二つの公式標語である「超我の奉仕」は、奉仕の哲学を表しています。「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」これは実践論です。他者に対する正しい経営の科学のみが引き合います。日本のロータリーでよく話される近江商人の三方よしです。大切なことは、世間良しです。

また、ロータリーの定義として、2010年に出されたロータリーの中核的価値観というものがあります。『奉仕・親睦・多様性・高潔性・リーダーシップ』の5つです。ロータリーの目標でもあり、ロータリーを定義づける不変的な価値観です。

そして、2017年に、私たちロータリアンは、「世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています。」というビジョン声明が出されました。これを実践するための戦略計画があります。『より大きなインパクトをもたらす。参加者の基盤を広げる。参加者の積極的なかわりを促す。適用力を高める。』です。先ほどの5つの価値観、ビジョン声明を達成するための戦略計画といえます。

よって、「会員基盤の強化」が大変重要となってきます。日本のロータリーは、25年前に約13万人でしたが、今は約8万人弱です。若い世代や経験豊富な退職者世代、また性別を問わず入会していただきたいと思っています。クラブは、多様性・ダイバーシティの概念を念頭において、仲間を増やす工夫をして頂きたいも

のです。世界で女性会員の割合は約 25%ですが、日本は約 7%です。全体の会員数はコロナの影響でここ 3 年間は減少しており、大変厳しい状況です。各クラブ平均 1 人増えれば、地区全体で 73 人増えます。会員の多いクラブは、更に増員増強にご尽力をお願いします。そのためには、クラブを魅力あるものにすることが肝要と考えます。そして一人一人の会員と向き合い、意欲を持って奉仕活動ができる会員が数多く存在することが、クラブの魅力になるのではないのでしょうか。元気で居心地の良いクラブづくりに積極的に取り組んでいってほしいと思います。

そして、「DEI、ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン。」あまりなじみのない言葉かもしれませんが、現在とても大切なワードとして私は地区方針にうたっております。この取り組みは、多くの企業で推進されています。当地区では、昨年度より D・E・I 委員会を立ち上げ、誰でも活躍できるロータリーに推進していきます。

ここで公共イメージと認知度の向上についてお話しします。「ロータリー」は意外と世間に知られていません。あるいはロータリーという名前が知られていても、どんな活動をしているかはあまり知られていないようです。我々の活動が世間に認知されることで、我々の励みにもなると思います。奉仕活動の機会を捉え、クラブがこれまで行ってきた活動を伝えるとともに、ロータリーが国際的なネットワークで実践している「ポリオ撲滅」に力を入れていることなども伝えていきたいです。

ロータリーの奉仕は皆さんご存じの通り、五大奉仕です。5 つの内、国際ロータリー RI が実際に携わって実施しているのは青少年奉仕だけです。ロータリーのキーワードは「未来のため」です。RI は青少年交換・インターアクト・ローターアクトに力を入れています。共にとても素晴らしい事業です。全てロータリーファミリーです。

さらには 2015 年以降、SDGs がよく語られています。2030 年までの持続可能な 17 の目標を改めてかいつまんでみますと、その多くが以前より、ロータリーの奉仕プロジェクトプログラムの中に組み込まれていることに気付かされます。以前は 6 つでしたが、「環境の保護」がプラスされて、7 つの重点分野になりました。それを受け、各クラブがさらに様々な奉仕プロジェクトを実践するようになりました。『Doing good in the world 世界で良いことをしよう』そこで、ロータリー財団の地区補助金、グローバル補助金制度を活用して、地域社会で、また海外で奉仕プロジェクトを実践して下さるようよろしくお願いします。

ロータリー財団は、世界では非常に高い評価を受けています。あの有名なチャリティナビゲーターで、連続 15 年最高位の 4 つ星を頂いています。お金の使い道、使い方、透明性、いずれの面においても高い評価を受けています。財団奨学生も素晴らしいです。皆さんご存じの緒方貞子さんや、国連の事務次長の中満泉さんを初め、数多くの財団奨学生が世界各地で大活躍してみえます。今後も世界に羽ばたく人材を育成することができるよう、財団へのご寄付、一人当たり 150 ドル以上を、引き続きよろしくお願いします。

ポリオは非常に感染性の高い病気であり、特に感染しやすいのは 5 歳未満の子どもです。日本では一般に「小児まひ」と呼ばれることもあります。ポリオウイルスは人から人へ感染し、最も多いのは汚染水を通じた感染です。根絶した天然痘と同じで、媒体を通じてではなく人から人ですので、ネガティブではなくてポジティブに応援して頂きたいと思います。今年になって、アフガニスタンとパキスタンで 6 月 20 日までに 6 件発症が確認されています。残る 0.1% のポリオの根絶が課題であり、ワクチン投与を続けなければなりません。日本でも毎年ポリオワクチン投与で約 400 億円使用しています。ポリオ撲滅が実現すれば、ロータリーの人道奉仕の成果として、歴史に残ります。引き続きポリオ・プラスへの寄付のご協力をお願いします。

米山記念奨学生。ロータリーの米山記念奨学会の制度は、1952 年に始まりました。戦後まもなくです。創設の目的は、「日本が再び戦争をしないという強い意志を持ち、そして、我々ロータリアンが平和を築く努力をする」、という趣旨です。日本で勉学・研究をしている留学生への支援を通じて、信頼関係を築き、留学生の皆さんに、世界平和の懸け橋となっていただくことを願って設けられたものです。留学生が、専門的な研究で成果を挙げられるとともに、これを機会に、各国のロータリアンとの交流を通じて、国際的な友好、信頼を深めていただき、日本と母国との懸け橋になって活躍して頂きますように願っています。米山記念奨学会への寄付も宜しくをお願いします。

ロータリー賞、RI 会長特別賞を目指していただきたいです。3 つの戦略的優先項目に沿っていくつか項目がありますが、それほど難しくはありません。予定者の段階で、マイロータリー、クラブセントラルから入力していただけます。

元気なクラブ、魅力あるクラブ、居心地の良いクラブとは、親睦や例会を会員が楽しみ、ロータリーを通じて友人が増え、みんなの知識レベルやロータリーの理解が深まり、奉仕活動を通じて世の中の為に良いことをしているという喜びを実感できるクラブではないのでしょうか。そして、新しい会員が入って仲間が増え

沢山の同好会があり、他のクラブとも交流があるクラブにしていきたいものです。ロータリーに大切なことは、多様性と寛容な心だと思います。ロータリーは時代とともに変化しています。固定観念に縛られない新しい風を取り入れて、皆で一緒になってより良い方向へ考えていきましょう。

ロータリーは、ロータリアン同士の親睦を重ねて、共に学び、そして社会に貢献する世界的な団体であります。日本で大切にされてきたロータリー観を一言で言えば、『親睦・学び・成長・奉仕』です。

マイロータリーでは、多くの正しい情報が得られます。日本国内 34 地区、第 2630 地区のマイロータリーへの登録率は約 30%、全国平均より大変低いです。各クラブともぜひマイロータリーの登録をお願いします。入会と同時に登録しているクラブもあります。地区登録率 50%目指して、重ねて宜しくお願いします。そしてもう一つ、ロータリーカードについてお願いがあります。個人とクラブ用、地区用、地区委員会用とありますが、クラブカードは、人頭分担金や R 財団への寄付金送金も、マイロータリーより R カードで送金が大変便利です。地区カード、そして地区委員会カードの推進についても合わせてよろしくお願いします。使ったお金の 0.3%がポリオに自動的に送信されます。

最後になりますが、本年 11 月 18 日(土)に多治見市で地区大会を開催いたします。テーマは、「希望と未来を、あつく語ろう 多治見のまちで。」です。多くの皆様方のご登録、ご参加を宜しくお願いいたします。日本の伝統、しっかりとおもてなしをもって皆様方をお待ちしています。

### 地区大会の案内

地区代表幹事 山本和彦様

秋に行われます地区大会の案内を致します。今度の地区大会は 11 月 18 日の土曜日に、多治見バロー文化ホールで 12 時から開催を致します。地区協議会と同じ会場です。17 時半から大懇親会という事で、会場を移しましたセラミックパーク美濃にて、多治見ならではの食事、そして女性のアカペラグループの歌声を楽しんでいただきたいと思っております。

大会は先輩クラブの多治見 RC、多治見西 RC を子ホストとしてご支援をいただきながら準備をしております。大会テーマは「希望と未来を熱く語ろう、多治見の町で」と致しました。大会の記念講演は裏千家の大宗匠千玄室様をお願いしております。本年 100 歳を迎えられ、今なお現役の京都 RC の会員であります。昨年の 11 月にはジェニファー・ジョンズ RI 会長とお会いになり、平和への思いを熱く語られたという事でございます。

地区大会の前日の 17 日は名古屋観光ホテルにて、RI 会長代理をお迎えしての晩さん会を開催予定です。会長、幹事さんにはご出席の程、宜しくお願い致します。

多治見の紹介を致します。多治見は文化財の多い街です。2 つ紹介いたします。一つは虎溪山永保寺です。約 700 年前、夢窓疎石によって開かれました。観音堂、開山堂は国宝建造物で、岐阜県の 3 つある 2 つがこちらにあります。

2 つ目は多治見修道院です。1930 年にカトリック神言修道院のモール神父によって建てられました。地下 1 階、地上 3 階建ての木造バロック建築です。ブドウ畑を含む敷地は 30000 m<sup>2</sup>です。一度、ゆっくり多治見を見ていただきたいと思います。11 月 18 日には是非ご登録をお願い致します。



### ニコBOX

ニコBOX委員会 鷲見啓児君

松森正和君 本日は篠原ガバナー、地区役員の皆様、ようこそお出で下さいました、本日はよろしくお願い致します。

同文 佐藤備子君、大村太郎君、寺田澄男君、藤代昇君、羽土洋司君、小島正則君、石徹白秀也君、原義明君、美谷添里恵子君、畑中知昭君、山口里美君、清水英志君

東田春博君 長雨が止んで、梅雨が明けると良いですね。

### 次週行事予定

7月22日 地区財団研修セミナー  
7月20、21日 志摩 RC との交流会

7月29日 クラブ研修リーダーセミナー  
8月2日 物故者湯と納涼例会

### 出席報告

出席委員会 石徹白秀也君

	会員数	出席者数	欠席者数	補正者数	出席率	出席免除
第 2114 回	32名	25名	6名		80.65%	1名
第 2115 回	32名	19名	12名		61.29%	1名